

復興へのあゆみ vol.14

復興に向けて一。あゆみを進める人を紹介します。

この味を待っていてくれる人 たちのために

明治15年創業の「旭合名会社醤油醸造所」の4代目 中川 賢治さん、美保さん夫妻。賢治さんの実家はミカン農家ですが、結婚して美保さんの実家の醤油屋を継ぐことになりました。

美保さん曰く「固定観念がない」賢治さん。独自のアイデアによる商品が評判になり、販売も軌道に乗りました。始めたところで豪雨災害が発生しました。大型の冷蔵庫、冷凍庫を備えた新工場を構えたばかりのことでした。あつという間に水が腰ほどの高さまで来て、機材や商品がすべて水に浸かってしまいました。

何から手をつければいいのか分からない中、県内外の知人の手を借りながら、またグループ補助金やクラウドファンディングなども活用して、再起に向け慌ただしく過ごす日々。そうした中でも多くの温かい声があり、大きな励みになったそうです。

ようやく少し落ち着いてきたのは1年と半年が過ぎたところで、災害が起きてからは本当にあつという間だったと言います。

しかし今年の4月には、新型コロナウイルスの感染拡大により海外への輸出もストップ、首都圏への流

災害復興掲示板

本庁 ☎24 - 1111

吉田支所 ☎52 - 1111

三間支所 ☎58 - 3311

津島支所 ☎32 - 2721

宇和海支所 ☎62 - 0311

※詳しくは、お問い合わせください。



旭合名会社醤油醸造所

中川 賢治 さん

profile

明治15年創業。醤油製造、販売業を営む。醤油の量り売りで使用されていたモザイクタイル張りの流し台は国登録有形文化財に指定されている。平成30年7月豪雨災害により商品や機材のほとんどが水に浸かった。

平成30年7月豪雨災害 写真募集

被害状況や復旧・復興への取り組みを記録するため、平成30年7月5日(木)以降の浸水被害、土砂崩れなど災害に関する写真やボランティア活動、炊き出しなどの各種支援や復興に関する写真を募集しています。

【内容】

- ▶ 浸水被害、土砂崩れなど災害に関する写真（平成30年7月5日(木)以降のもの）
- ▶ ボランティア活動や炊き出しなど各種支援に関する写真
- ▶ そのほか災害、復旧・復興に関する写真

【応募】 ①提供者氏名②撮影日時・場所③写真の説明を記入し、郵送またはEメールで応募するか、持参してください。

【応募・問合せ先】 〒798-8601 宇和島市曙町1番地
市長公室シティセールス推進係 ☎内線 2407 ✉ saigai-ph@city.uwajima.lg.jp



■提供写真



【立間川】



【浸水被害】



【炊き出し】

※ご協力ありがとうございました。



建てたばかりの新工場が浸水



機材や商品が泥だらけに



国登録有形文化財に指定されている流し台

通も激減しました。売上げが大きく落ち込む中でも「災害のときも大変やっただんどなんとかやってこれた。今回も乗り切らんとね」と前を向きます。「これからもこの味を待っていてくれる人たちのために、まだ知らないたくさんの人たちに届けるために、できることはどんどんやっていきたい」と話してくれました。